

Cisco サブスクリプション ソフトウェア ライセンスキーの適用について ～物理アプライアンスをご利用の場合～

1. 対象となるお客様

本文書は、物理アプライアンスをご利用のお客様を対象とし、Cisco サブスクリプションソフトウェアライセンスキーの適用方法を説明したものです。

仮想アプライアンスをご利用のお客様は仮想アプライアンス向けの文書をご参照ください。

2. ライセンスキーファイルについて

***** IMPORTANT - DO NOT DISCARD THIS E-MAIL *****

You have received this email because your email address was provided to Cisco Systems during the registration process for Cisco Systems product license keys. Please read this email carefully and forward it with any attachments to the proper system administrator if you are not the correct person in your organization that is working with these products.

=====

(1) Serial Number : 1A2BC3
 (2) Type: IronPort Anti-Spam, apply by: 2013/02/26, expires: 2014/01/02(11 months, 6 days)
 (5) Key : skbEi-cANKU-RmVPS-aXEDy-OhSwk-XbdTp-1y7EB-IKTB3-cncIG-XNXuM-wQww=-=

- (1) Serial Number・・・ライセンスキー適用対象となる機器のシリアル番号
- (2) Type・・・ライセンス種別 (IronPort Anti-Spam や Sophos Anti-Virus など)
- (3) apply by・・・(5)ライセンスキー文字列の有効期限(ライセンス契約開始日ではありません)
- (4) expires・・・ライセンス契約終了日
- (5) Key・・・ライセンスキー文字列

3. GUI からの適用方法

http または https で機器に接続しログインします

Username: admin / 初期パスワード: ironport

(1) 機器がインターネットに接続されている場合

“System Administration(システム管理)”から“Feature Keys(ライセンスキー)”を選択し、まずは、各ライセンスの“Expiration Date(期限)”をご確認ください。ライセンスキーは、通常、30日に一回、既存ライセンスの残りが10日を切ったからは24時間に一回、機器が自動的にダウンロードし適用します。“ExpirationDate(期限)”がご契約終了日以降の日付になっている場合は、自動適用済みですので、ここで作業終了となります。

“Expiration Date(期限)”がご契約終了日以降の日付になっていない場合(注)は、以下の手順でライセンスキーのダウンロードと手動適用を行ってください。

- 1) “Check for New Keys(新しいキーをチェック)”ボタンを押下します。
- 2) 新しいライセンスキーが確認されると、インターネットを通じてダウンロードします。
- 3) 利用開始する機能のキーを選択し、“Activate Selected Key(選択したキーを活性化してください)”

い)ボタンを押下し適用します。

- 4) 動作状況によっては、使用許諾への同意が必要になる場合があります。画面の指示に従い同意することで、機能が利用可能になります。

- (2) 機器がインターネットに接続されていない場合、または、①にて適用できなかった場合
“System Administration (システム管理)”から“Feature Keys (ライセンスキー)”を選択します。ライセンスキー (“Key: ”以降の文字列)をコピーし Feature Key 入力フォーム内にペースト、“Submit Key (キーを設定)”ボタンを押下してください。“Expiration Date (期限)”がご契約終了日以降の日付になりましたら、ここで作業終了となります。

4. CLI からの適用手順

シリアルコンソールまたは SSH で機器に接続しログインします。

Username: admin / 初期パスワード: ironport

- (1) 機器がインターネットに接続されている場合

“featurekey”コマンドを実行し、まずは各ライセンスの“Expiration Date”をご確認ください。ライセンスキーは、通常、30 日に一回、既存ライセンスの残りが 10 日を切ったからは 24 時間に一回、機器が自動的にダウンロードし適用します。“ExpirationDate (期限)”がご契約終了日以降の日付になっている場合は、自動適用済みですので、ここで作業終了となります。

“Expiration Date”がご契約終了日以降の日付になっていない場合(注)は、以下の手順でライセンスキーのダウンロードと手動適用を行ってください。

“featurekey”コマンドを実行後、サブコマンドより“CHECKNOW”コマンドを実行すると、ライセンスキーをダウンロードします。ライセンスキーが自動的に適用された場合はここで作業終了となります。Pending 状態になった場合は、表示される指示に従って手動適用を行ってください。

- (2) 機器がインターネットに接続されていない場合、または、①にて適用できなかった場合
“featurekey”コマンドを実行後、サブコマンドより“ACTIVATE”コマンドを実行、ライセンスキー (“Key: ”以降の文字列)をコピーし、ペーストします。“Expiration Date”がご契約終了日以降の日付になっている場合はここで作業終了となります。

(注) ライセンスキーの自動ダウンロード・適用は、以下の要因により行われない場合があります

- (1) インターネットへの接続にネットワーク的な問題がある
- (2) 自動ダウンロード・適用が実行前である(1 日に 1 回実行します)
- (3) ライセンスの自動ダウンロード・適用機能を無効化している(デフォルト値では有効)
- (4) 元のライセンスが一度失効してから、ライセンスキーが発行された場合

お問い合わせ

ご不明な点がございましたら、購入された販売店にお問い合わせください。

購入された販売店がご不明な場合は、以下よりお問い合わせください。

<https://www.soliton.co.jp/support/>

※サポートページの「サポートをご契約のお客様」の「お問い合わせ」にある「お問い合わせ」ボタンをクリックし、Webフォームからお問い合わせください。